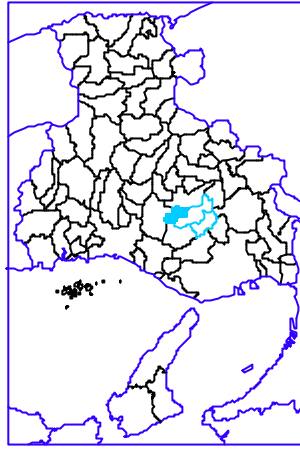


7 上滝野・宮ノ前遺跡

調査地 加東郡滝野町上滝野字宮ノ前
調査期間 2000年1月26日から
1月31日まで
原因 防火用水施設敷設工事
原因者 加東郡滝野町
担当課－生活文化課
調査協力 重機－(株)阿江建設
撮影－兵庫スカイ・
フォトサービス
調査面積 86m²(約12m×7m)

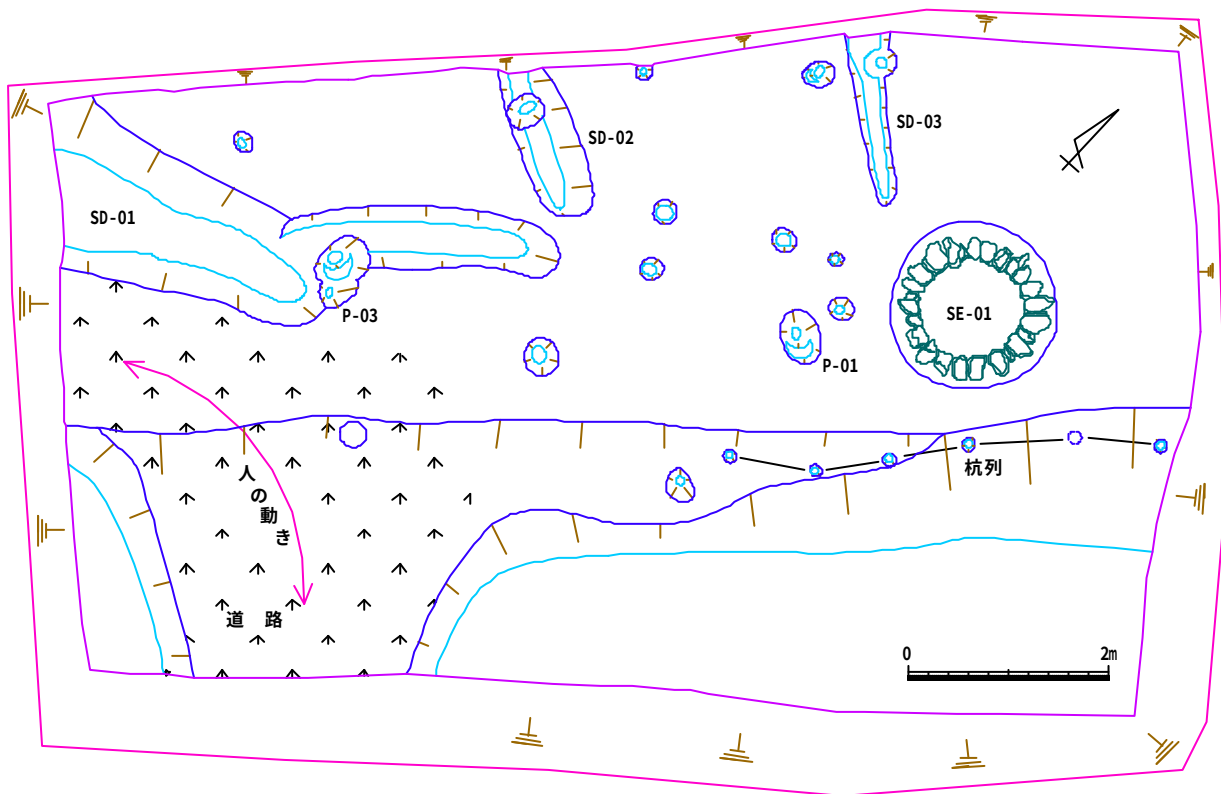


はじめに

防火用水施設の工事予定地として、春日神社境内が候補地にあがっていたが、多量の墨書土器を出土した県下でも数少ない貴重な遺跡地内であるところから、工事対象の候補地にしないでほしい旨を事業者伝えていた。しかし他に良好な土地が見つからないとの理由から、遺跡地内での工事実施が確定したため、先だって調査を実施する事となった。

調査概要

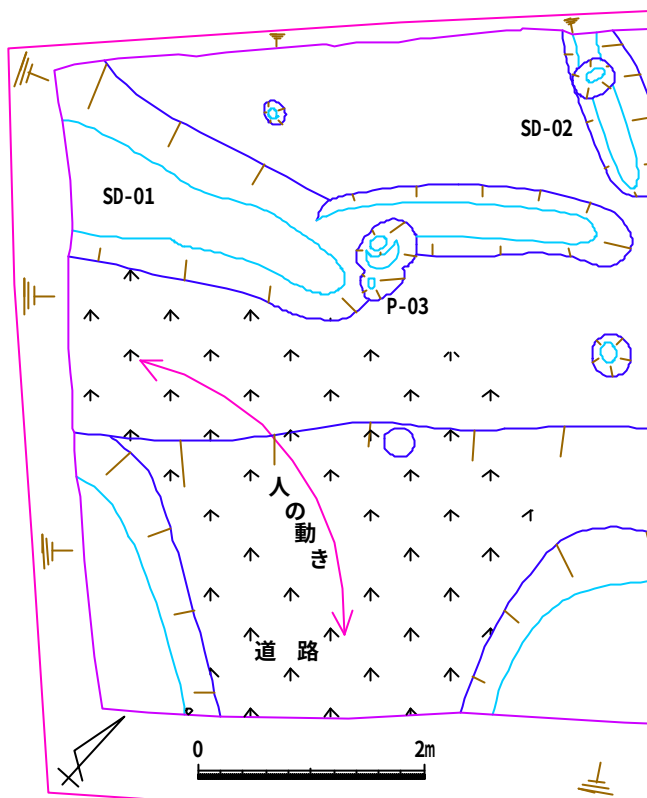
調査部分は防火用水槽を埋設するために穿たれる12m×7mあまりで、境内への参詣道と舞台との間、玉垣に沿った部分にあたり、調査によって道状遺構・溝・ピットなどが検出されている。



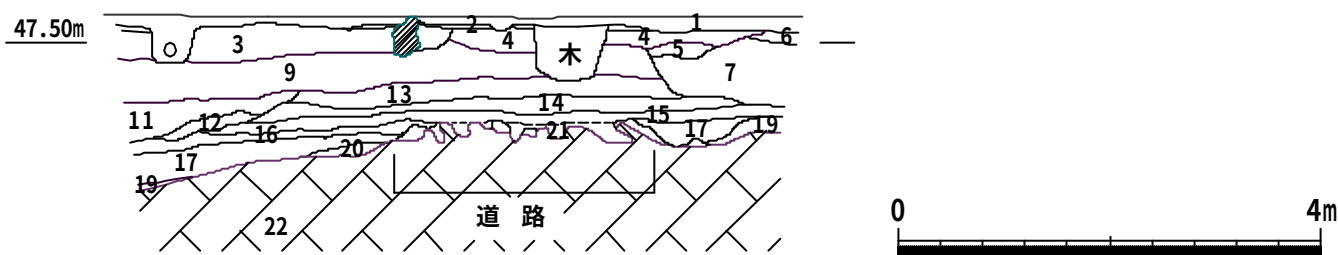
道路状遺構

N-37°-W方向に延びる道路の取り付け部分が確認されているほか、西壁で確認する限りでは、落ち込みとSD-01との幅2.00mには、ベースが軟弱であったためであろうか、凸凹が著しく、人がこの部分を移動していたことをうかがい知ることができる。つまり、図に示したように落ち込みである湿地方向の道路から北西に向かって来た人達は、SD-01に沿って南西方向に進んだといえる。当然その逆もあることになる。ただし、杭列に沿って北東側から南西方向やその逆に人々が進行した可能性はベースの遺存状態からは少ないといえそうである。

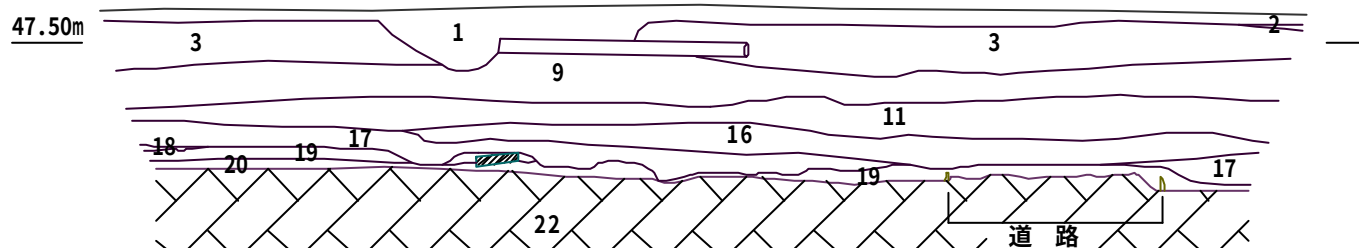
一方、南壁では両側が削られて上端部で幅1.80m、下端部で1.98m、高さ18cmの高まりが道路として形成されていることがわかるほか、道路の両肩には径4cmの杭(99)が土留め用に打ち込まれている。



南壁面



東壁面



- | | | | | |
|------------------|--------------|------------|---------|------------|
| 1 碎石 | 2 黄橙色土 | 3 にぶい黄橙色土 | 4 灰黄褐色土 | 5 褐灰色土 |
| 6 灰黄色土 | 7 にぶい黄色土 | 8 浅黄色土 | 9 黄灰色土 | 10 にぶい黄橙色土 |
| 11 灰黄褐色土 | 12 灰黄褐色砂層 | 13 にぶい黄橙色土 | 14 黄灰色土 | 15 暗灰黄色土 |
| 16 褐灰色土 | 17 黄灰色土 | 18 灰黄褐色砂層 | 19 黒土 | 20 褐灰色土 |
| 21 灰黄褐色土-踏み込まれた土 | 22 灰黄色シルト-地山 | | | |

溝状遺構

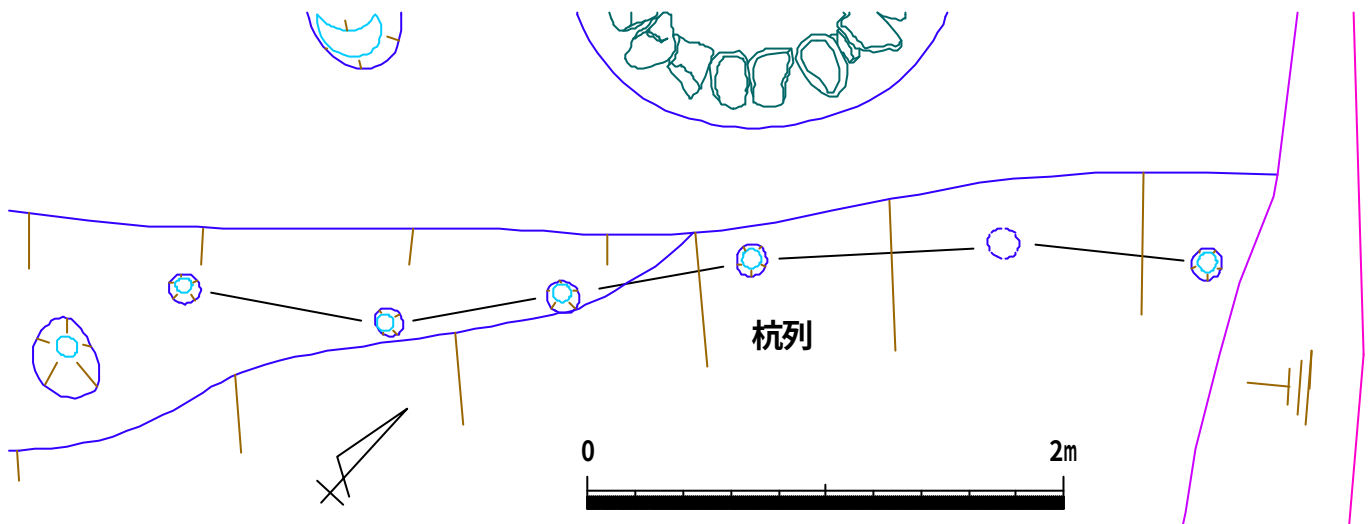
S D-01は道路状遺構の北側に併設された側溝である可能性が強く、幅1.45m、深さ20cm、長さ2.95mあまりが確認されている。埋土は黄灰色土の単層である。出土遺物は須恵器の坏類が少量出土している。

S D-02はN-60°-Wに長軸をもち、長さ1.5m、幅60cm、深さ13cmを測る。出土遺物は山茶碗が1点みられたにとどまる。

S D-03はN-40°-Wに長軸をもち、長さ1.75m、幅40cm、深さはわずか7cmを測る程度と遺存状態は悪い。出土遺物はみられない。

杭列

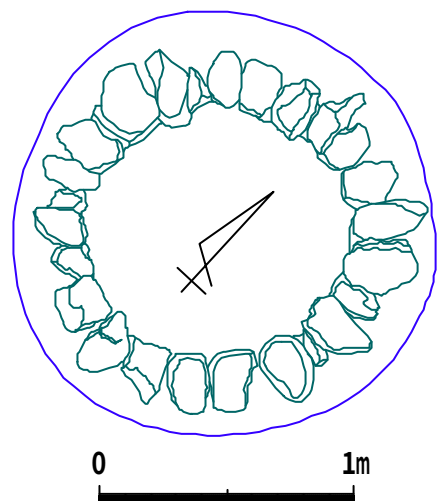
平らな地山面から湿地部分に落ち込む変換点付近に、確認されたのは5本分、径15cmあまりで現存長4.27mを測る土留め用と考えられる杭列が穿たれている。しかし、築かれた時期は明らかではない。



井戸

S E-01は、1.7mのほぼ円形状の掘り方を呈しており、人頭大の河原石を円形に積み上げた井戸で、石積みの内径は約90cm、深さ1.2mを測る。

調査当初は井桁状の平らな石材で蓋がなされていたところから、内部には埋土は見られず冠水で満たされており、遺物の出土をみないところから、井戸を埋める際にみられる祭祀は行われていないといえる。井戸が築かれた時期は不明であるが、境内の入り口にあたるところから、昭和6年の春日神社建て替えに際して埋め立てられた手洗い用の井戸であった可能性が強い。また、その際の整地に伴う攪乱によって調査地の北側ほど遺構面の削平が著しい。



出土遺物

調査対象地は、東側半分が湿地状に落ち込む部分にあたり、この部分からはかつての調査と同様に須恵器の蓋（１～１８・６２）・坏（１９～４５・５３～６１）・皿（４６～５２）・壺（６３～７３）・甕（７４・７５）、土師器の坏（７６～７９）・製塩土器（８０～８７）・甕（８８～９１・９３・９５～９７）・高坏（９２）・塙（９４）、鋤の柄（？）状の木製品（９８）・杭（９９）・加工痕や一部が焼けた木片などコンテナケースで５箱分の遺物が出土している。

須恵器

蓋は摘みを有するもので、（６・７）のように緩やかに彎曲するものと、（１１～１３）のように「Ｚ」字状を呈するタイプがある。

坏は（１９～３４）のようにいわゆる高台がみられない坏Ａ、（３５～４５）のように高台を有する坏Ｂがある。（２９～３４・４１～４５）のように口縁部が直線的に外反した後出するタイプのものがみられる。（５３～６１）は底部に回転糸切りが施されたいわゆる山茶碗である。

墨書土器として（２５～２９）があり、すべて底部外面に墨書がみられる。（２５・２６）は判読できない。（２７）は「瀧」とあり、下の文字は図化したように「乃」と読めるかもしれないが判然とはしていない。（２８）は「庄」とあり、下の文字は判読できない。（２９）は「省」であるが、前回の調査例から「兵部省」としてよいと思われる。（３８）の底部外面には墨痕がみられ、硯の海として使用されていたものと理解される。

（４０）は今回の調査では唯一の稜碗。口縁内部に凹線を巡らさないタイプである。

（４６～４８）は高台をもたない皿。（４９～５２）は高台を有する皿である。

山茶碗は丁寧に高台を造り出しているが、（６１）のように粗いものもみうけられる。（６２）には３重の円が刻まれている。また、（６９）にも底部外面にヘラ記号が描かれている。

土師器

（７６）は完形になる坏で、口縁端部に一状の凹線が施されている。

製塩土器は概ね胎土中に砂粒を多く含み、調整として外面は指押さえ、内面は削りや指押さえが認められるやや器壁が厚いもの（８１～８４・８６・８７）が大半を占めるが、堅緻で器壁が薄い（８０）のようなものがわずかではあるが出土している。また（８５）のように内面に布目痕をもつものも少量ではあるが認められる。

高坏は脚柱部が六角形状に面取りされたもの（９２）のほか、脚柱部の断面が円形状を呈するものが出土している。

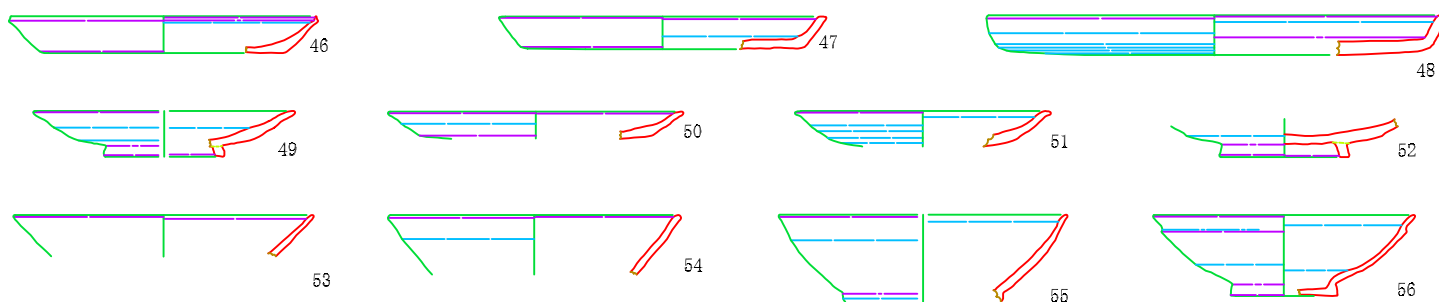
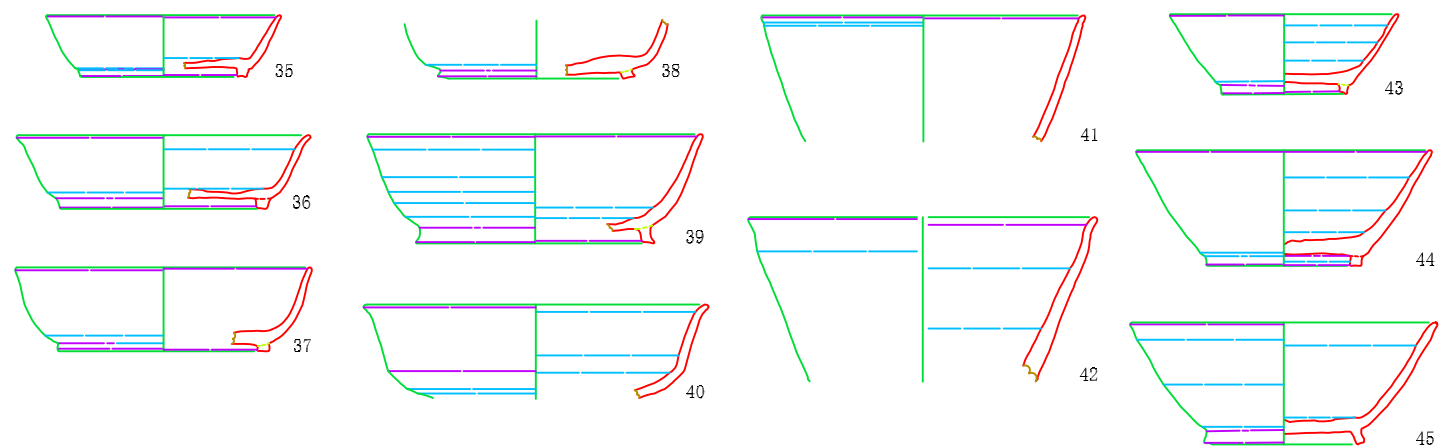
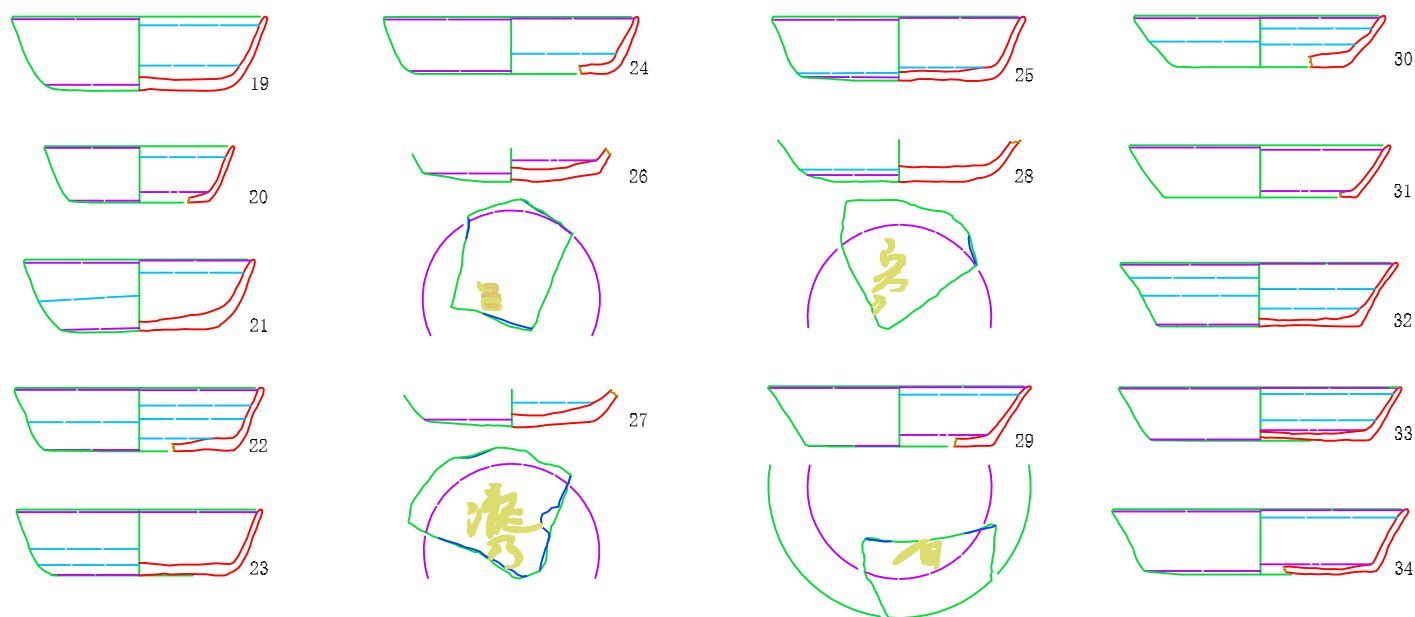
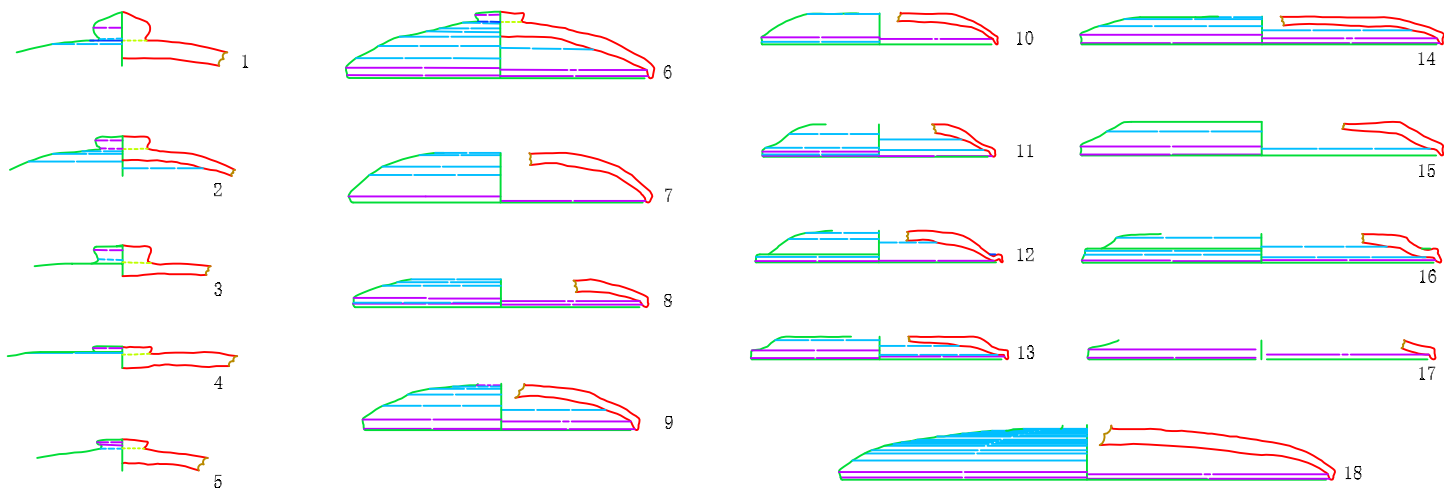
甕には口径が１５ｃｍ未満の（８８～９１）と、２０ｃｍ前後を測る（９３・９５～９７）がみられる。

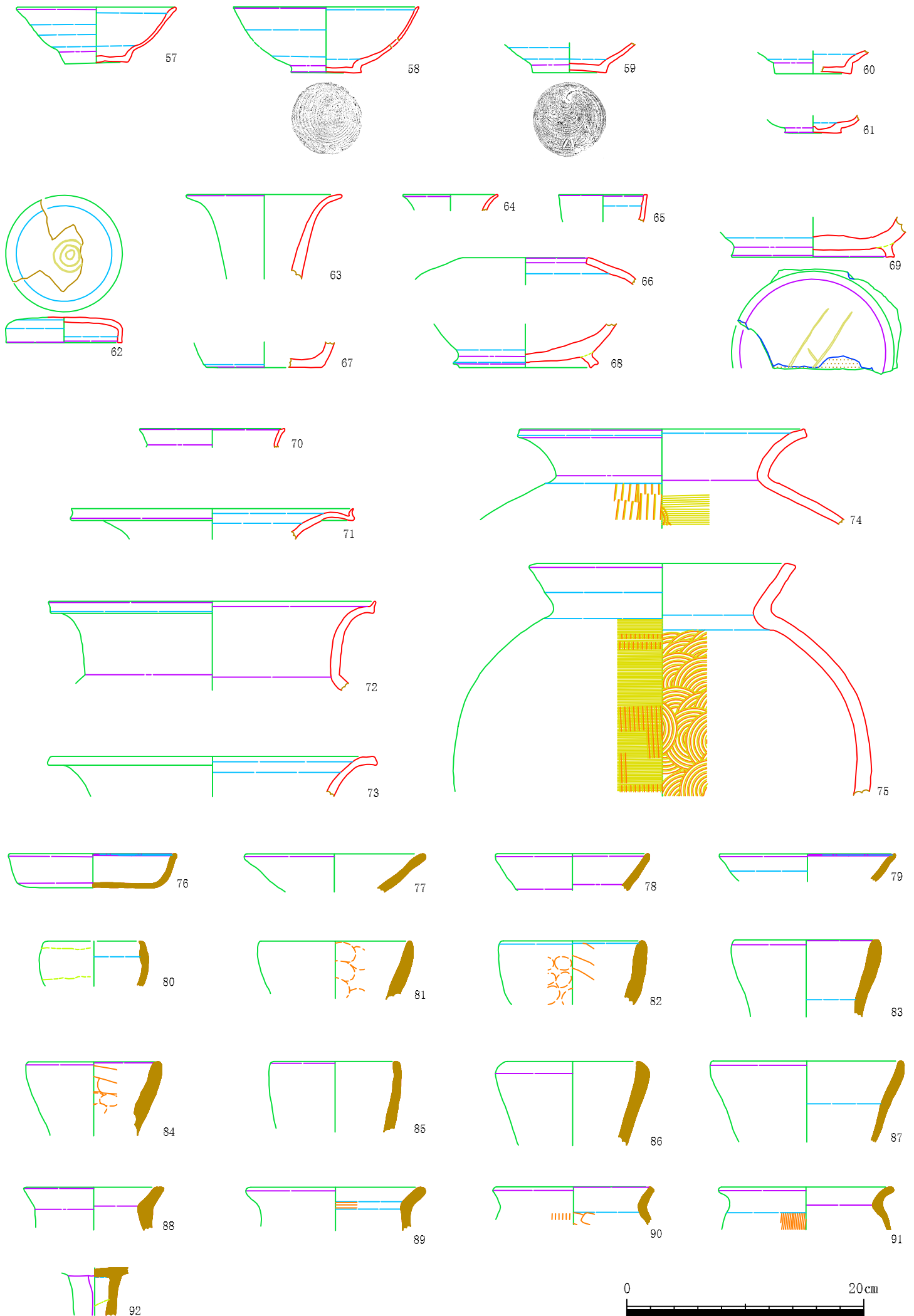
（９４）はヘルメットを逆にしたような形状を呈する塙である。

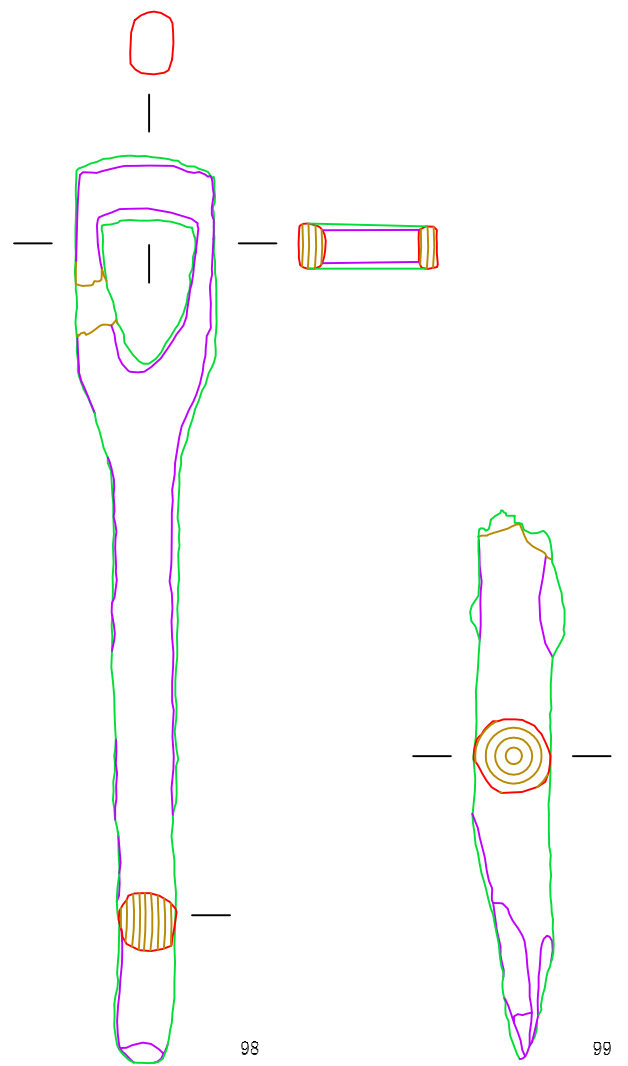
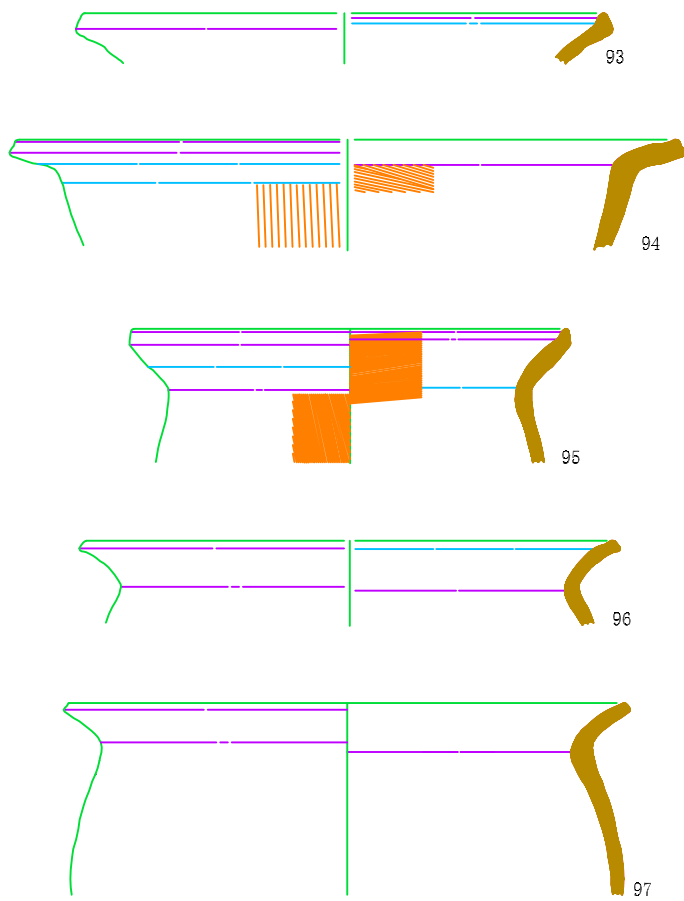
木製品

（９８）は、クヌギ節－アベマキ？－の材を使い取っ手部分を削り抜いた柄の部分である。先端部がやや細く仕上げられているが、鋤先などが欠損したものである。（９９）は道路の肩部分に土留め用に打たれていた杭の先端部で、材は複雑管束亜属－アカマツ？－である。

そのほか、火付け用とおもわれる一端が炭化した木片などが出土している。







出土遺物一覧表 1

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
1		須恵器	蓋			<u>2.7</u>		良好	N8	灰白色	N8	灰白色	ヨコナデ	転用硯－内面に墨痕 つまみのみ	
2		須恵器	蓋			<u>2.1</u>		良好	2.5GY7/1	明オリーブ灰色	2.5GY6/1	オリーブ灰色	外面-ヨコナデ→回転ヘラケズリ 内面-天井部仕上げナデ	つまみのみ	
3		須恵器	蓋			<u>1.6</u>		良好	N7	灰白色	N7	灰白色	内面-天井部仕上げナデ（不定方向）	つまみのみ	
4		須恵器	蓋			<u>1.1</u>		良好	N8	灰白色	N8	灰白色	外面-天井部回転ヘラケズリ 内面-天井部ヨコナデ→仕上げナデ	つまみのみ	
5	SD01	須恵器	蓋			<u>1.6</u>		不良	N7	灰白色	N7	灰白色		つまみのみ	
6		須恵器	蓋		15.8	3.5		良好	N8	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラケズリ 内面-天井部仕上げナデ		30
7		須恵器	蓋		15.6	<u>2.6</u>		良好	5GY6/1	オリーブ灰色	5GY6/1	オリーブ灰色	外面-ヨコナデ→天井部部分的に回転ヘラケズリ（時計回り） 内面-天井部仕上げナデ	つまみ欠損	30
8		須恵器	蓋		15.4	<u>1.4</u>		良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラケズリ（時計回り）	3mm程度の石含む	20
9		須恵器	蓋		14.2	<u>2.4</u>		良好	N7	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラケズリ（時計回り） 内面-天井部仕上げナデ	つまみ欠損	16
10		須恵器	蓋		12.3	<u>1.5</u>		堅緻	N8	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラ切り	つまみ欠損	20
11		須恵器	蓋		12	<u>1.7</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	ヨコナデ		16

出土遺物一覧表 2

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
12		須恵器	蓋		13	<u>1.7</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラ切り		20
13		須恵器	蓋		13.4	<u>1.2</u>		堅緻	5PB6/1	青灰色	5PB6/1	青灰色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラ切り		20
14		須恵器	蓋		18.8	<u>1.5</u>		堅緻	N8	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラケズリ 内面-天井部仕上げナデ	つまみ欠損	30
15		須恵器	蓋		19	<u>1.8</u>		堅緻	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ 内面-天井部仕上げナデ	外面全体的に自然 釉付着	18
16		須恵器	蓋		18.8	<u>1.5</u>		堅緻	N8	灰白色	N8	灰白色	ヨコナデ		18
17	Pit1	須恵器	蓋		<u>18.2</u>	<u>1</u>		良好	N7	灰白色	N7	灰白色	不明		5
18		須恵器	蓋		25.8	<u>2.9</u>		堅緻	N8	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→ヘラ磨き風の細かい回 転ヘラケズリ	重ね焼き痕・火襷 痕残る つまみ欠損	40
19	SD01	須恵器	坏		13.2	3.9		不良	N7	灰白色	N7	灰白色	外面－底部回転ヘラギリ ヨコナデ	火襷痕残る	40
20		須恵器	坏		9.8	3	7.3	良好	N5	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	外面全体的に灰か ぶり	15
21		須恵器	坏	A	11.8	3.8	8	不良	5Y8/2	灰白色	5Y8/2	灰白色	外面-口縁部ヨコナデ 底部回転ヘラ切 り		70
22		須恵器	坏	A	13	3.3	10.1	良好	N7	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		30

出土遺物一覧表 3

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
23		須恵器	坏	A	12.8	3.4	9.4	普通	7.5GY6/1	緑灰色	7.5GY6/1	緑灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	火襷痕あり	70
24		須恵器	坏	A	13.2	3	10.1	不良	2.5Y8/2	灰白色	2.5Y8/2	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		10
25		須恵器	坏	A	13.1	3.3	10.2	普通	N6	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り 内面-ヨコナデ→底部不定方向の仕上げナデ	火襷痕あり 外面底部に墨書？	60
26		須恵器	坏	A		1.7	9.4	良好	N6	灰色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	火襷痕あり 外面底部墨書（文字不明）	20
27		須恵器	坏	A		2	8.9	普通	N7	灰白色	N7	灰白色	外外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	外面底部墨書『瀧□』－瀧乃と読みたい	25
28		須恵器	坏	A		2.2	9.7	不良	5Y7/1	灰白色	5Y7/1	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り 内面-底部不定方向の仕上げナデ	外面底部に墨書『庄□』	35
29		須恵器	坏	A	13.6	3.1	9.8	普通	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部ヘラ切り 内面-底部仕上げナデ	外面底部墨書『省』－兵部省？	20
30		須恵器	坏	A	13	2.7	9	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		25
31		須恵器	坏	A	13.6	2.7	10	良好	N6	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	火襷痕あり	20
32		須恵器	坏	A	14.4	3.4	10.6	堅緻	N7	灰白色	N8	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り 内面-底部仕上げナデ	火襷痕あり 靱痕あり	25
33		須恵器	坏	A	14.8	2.8	11.5	良好	10YR4/2	灰黄褐色	10YR4/2	灰黄褐色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	火襷痕あり	30

出土遺物一覧表 4

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
34		須恵器	坏	A	15.4	3.4	12.3	良好	5Y8/1	灰白色	5Y8/1	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り	火襷痕あり 外面底部にヘラ記号？	20
35		須恵器	坏	B	12.2	3.2	8.8	良好	2.5Y5/1	黄灰色	2.5Y5/1	黄灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台		30
36		須恵器	坏	B	15.4	3.9	10.9	良好	7.5Y3/2	オリーブ黒色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台 内面-底部仕上げナデ		25
37		須恵器	坏	B	15.4	4.4	11	良好	N6	灰色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		10
38		須恵器	坏	B		3	10.4	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台 内面-底部仕上げナデ	外面高台内部に墨 付着（転用硯？）	30
39		須恵器	坏	B	17.6	5.7	12.4	普通	N5	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→坏下半から底部に回転ヘラケズリ→貼り付け高台 内面-底部仕上げナデ		25
40		須恵器	稜碗		17.8	4.9		良好	5PB5/1	青灰色	5P6/1	紫灰色	外面-ヨコナデ→稜下半に回転ヘラケズリ		20
41		須恵器	坏		16.8	6.7		良好	N5	灰色	N7	灰白色	ヨコナデ	3mm程度の石含む	20
42		須恵器	坏		18.2	8.6		不良	2.5Y8/2	灰白色	2.5Y8/2	灰白色	ヨコナデ		15
43	SD01	須恵器	碗	B	11.8	4.2	6.6	良好	7.5GY7/1	明緑灰色	7.5GY7/1	明緑灰色	外面-底部回転ヘラギリ 口縁部ヨコナデ 面ーヨコナデ 内	4mm程度の石をわずかに含む	30
44		須恵器	坏	B	15.4	6.1	8.2	良好	5B6/1	青灰色	5B6/1	青灰色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台	火襷痕あり 内面底部は摩耗する	20

出土遺物一覧表 5

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
45		須恵器	坏	B	15.8	6.4	8.4	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台		50
46		須恵器	皿		16	1.9	12.7	不良	10YR7/1	灰白色	10YR7/1	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		15
47		須恵器	皿	A	17	1.7	14.5	不良	10YR8/1	灰白色	10YR8/1	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り		15
48		須恵器	皿	A	23.8	2.1	21.8	普通	10Y7/1	灰白色	10Y7/1	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラケズリ 内面-底部非常に丁寧なナデ？		20
49		須恵器	皿		<u>13.8</u>	2.4	<u>6.4</u>	良好	5PB6/1	青灰色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台		15
50		須恵器	皿		15.4	<u>1.4</u>		良好	N7	灰白色	N7	灰白色	ヨコナデ	輪高台付？	15
51		須恵器	皿		13	<u>1.8</u>		良好	N5	灰色	N4	灰色	ヨコナデ	輪高台付？	20
52		須恵器	皿			1.9	6.8	普通	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転ヘラ切り→貼り付け高台	内面に重ね焼き痕あり 内外面ともに釉剥離	30
53	SD01	須恵器	椀？		15.8	<u>2.2</u>		良好	N8	灰白色	N8	灰白色	ヨコナデ		10
54	SD01	須恵器	椀	山茶碗	15.2	<u>3.1</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	ヨコナデ		20
55	SD02	須恵器	椀	山茶碗	<u>15</u>	<u>4.2</u>		良好	N7	灰白色	N7	灰白色	ヨコナデ		10

出土遺物一覧表 6

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
56		須恵器	坏	山茶碗	13.6	4.3	5.6	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り		45
57		須恵器	坏	山茶碗	13.2	4.7	5.3	普通	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り	火襷痕あり	60
58		須恵器	坏	山茶碗	15.4	<u>5.6</u>	5.9	良好	5YR6/4	にぶい橙色	5YR6/4	にぶい橙色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り		40
59		須恵器	坏	山茶碗		<u>2.5</u>	6.2	良好	5B4/1	暗青灰色	5B4/1	暗青灰色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り		50
60		須恵器	坏	山茶碗		<u>1.9</u>	6.4	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り	火襷痕あり	30
61		須恵器	坏	山茶碗		<u>1.4</u>	4.7	良好	N7	灰白色	N7	灰白色	外面-ヨコナデ→底部回転糸切り		30
62		須恵器	壺蓋		9.6	<u>2.1</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	外面-ヨコナデ→天井部回転ヘラ切り	外面天井部にヘラ記号（三重の円形）	30
63		須恵器	壺（口縁部）		12.8	<u>7.1</u>		良好	10Y8/1	灰白色	10Y8/1	灰白色	ヨコナデ	全体的に自然釉付着（緑）	40
64		須恵器	壺（口縁部）		7.8	<u>1.8</u>		良好	10Y4/1	灰色	10Y4/1	灰色	ヨコナデ	自然釉付着（緑）	15
65		須恵器	短頸壺（口縁部）		7.2	<u>2.2</u>		良好	10Y7/1	灰白色	10Y7/1	灰白色	ヨコナデ	内面に自然釉付着（緑）	15
66		須恵器	無頸壺		10.4	<u>2.3</u>		良好	5PB6/1	青灰色	5PB6/1	青灰色	ヨコナデ		20

出土遺物一覧表 7

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調一外	色名 1	色調一内	色名 2	調整	備考	残存率
67		須恵器	壺（底部）			<u>2.1</u>	9.8	良好	5P6/1	紫灰色	N7	灰白色	外面－ヘラケズリ		25
68		須恵器	壺(底部)			<u>3.6</u>	12.2	良好	N6	灰色	N7	灰白色	外面-底部回転ヘラ切り 貼り付け高台 内面-底部不定方向のナデ		60
69		須恵器	壺（底部）			3.4	<u>13.6</u>	良好	2.5GY4/1	暗オリーブ灰色	N4	灰色	外面-底部貼り付け高台	自然釉付着（緑） 外面底部にヘラ記号あり	20
70	SD01	須恵器	短頸壺？		12	<u>1.5</u>		良好	N5	灰色	N5	灰色	ヨコナデ		10
71		須恵器	壺（口縁部）		23.6	<u>2.6</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	ヨコナデ		15
72		須恵器	壺（口縁部）		27.4	<u>6.9</u>		良好	N6	灰色	N7	灰白色	ヨコナデ	自然釉付着	15
73		須恵器	壺（口縁部）		27	<u>3.4</u>		良好	N6	灰色	N6	灰色	ヨコナデ	外面自然釉付着（緑）	20
74		須恵器	甕		23.8	<u>7.7</u>		良好	N5	灰色	N6	灰色	外面-胴部平行タタキ→口縁部ヨコナデ 内面-青海波紋→ハケ目		35
75		須恵器	壺		21.2	<u>19.6</u>		普通	5Y7/1	灰白色	5Y6/1	灰色	外面-口縁部ヨコナデ→胴部平行タタキ→カキ目 内面-青海波文	砂粒多く含む	20
76		土師器	坏		13.8	2.9		良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	7.5YR6/4	灰白色	外面-底部指押さえ→口縁部ヨコナデ 内面－底部ナデ→口縁部ヨコナデ		90
77		土師器	坏		15	<u>3.2</u>		普通	10YR7/2	にぶい黄橙色	2.5YR5/4	にぶい赤褐色	ヨコナデ		15

出土遺物一覧表 8

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調－外	色名 1	色調－内	色名 2	調整	備考	残存率
78		土師器	坏		12.6	3.2		良好	7.5YR6/4	にぶい橙色	7.5YR6/4	にぶい橙色	ヨコナデ		25
79	Pit3	土師器	坏		14.6	<u>2.3</u>		不良	5YR6/4	にぶい橙色	5YR6/4	にぶい橙色	ヨコナデ		10
80		土師器	製塩土器		<u>7.7</u>	<u>3.8</u>		良好	10YR8/3	浅黄橙色	10YR8/3	浅黄橙色	口縁付近ヨコナデ		10
81		土師器	製塩土器		12.6	<u>4.9</u>		普通	7.5YR3/4	暗褐色	7.5YR3/4	暗褐色	指押さえ		15
82		土師器	製塩土器		11.6	<u>5.2</u>		普通	10YR5/3	にぶい黄橙色	10YR5/3	にぶい黄橙色	外面－指押さえ 内面－指押さえ ナデ	4mm大の岩片を多く含む	20
83		土師器	製塩土器		12.6	<u>6.5</u>		普通	2.5YR5/6	明赤褐色	2.5Y5/1	黄灰色		小含片を多く含む	25
84		土師器	製塩土器		11	<u>6.2</u>		普通	7.5YR3/2	黒褐色	5YR5/4	にぶい赤褐色	外面－指押さえ 内面－指押さえ ナデ	5mm大の岩片を含む	15
85		土師器	製塩土器		10.2	<u>5.9</u>		普通	5YR4/6	赤褐色	5YR4/6	赤褐色	内面-布目	8mm大の岩片を含む	20
86		土師器	製塩土器		10.9	<u>7.1</u>		普通	10YR7/3	にぶい黄橙色	10YR7/3	にぶい黄橙色		4mm大の岩片を多く含む	25
87		土師器	製塩土器		16	<u>6.8</u>		普通	10YR7/2	にぶい黄橙色	10YR7/2	にぶい黄橙色			15
88		土師器	甕		11.4	<u>3.5</u>		普通	5YR4/4	にぶい赤褐色	5YR3/1	黒褐色		4mm程度の石粒多く含む	15

出土遺物一覧表 9

番号	遺構名	種別	器種	器形	口径	器高	底径	焼成	色調一外	色名 1	色調一内	色名 2	調整	備考	残存率
89		土師器	甕		14.4	<u>3.7</u>		普通	7.5YR4/3	褐色	7.5YR4/3	褐色	内面-頸部にハケ目	搬入品？	20
90		土師器	甕		12.8	<u>3.2</u>		普通	2.5YR6/6	橙色	2.5YR6/1	赤灰色	外面-胴部ハケ目 内面-ヘラケズリ	外面頸部に煤付着	20
91		土師器	甕		14.2	<u>2.7</u>		不良	10YR7/2	にぶい黄橙色	10YR7/2	にぶい黄橙色	外面-胴部ハケ目→口縁部ヨコナデ		20
92		土師器	高坏 (脚)			<u>4</u>		普通	7.5YR7/2	明褐灰色	7.5YR8/2	灰白色		脚柱は六角形	40
93		土師器	甕(口縁部)		<u>27.6</u>	<u>3.4</u>		不良	10YR7/3	にぶい黄橙色	10YR7/3	にぶい黄橙色			10
94		土師器	埴		<u>34.6</u>	<u>5.8</u>		不良	10YR7/3	にぶい黄橙色	10YR7/3	にぶい黄橙色	外面-胴部縦方向のハケ目→口縁部ヨコナデ 内面-口縁部ハケ目		10
95		土師器	甕		22.8	7.1		普通	10YR6/1	にぶい黄橙色	10YR6/1	にぶい黄橙色	外面-胴部縦方向のハケ目→口縁部ヨコナデ 内面-口縁部ヨコナデ→横方向のハケ目		20
96		土師器	甕		<u>27.6</u>	<u>4.4</u>		不良	10YR7/2	にぶい黄橙色	10YR7/2	にぶい黄橙色	外面-胴部ハケ目	2～5mm大の砂粒を含む	10
97		土師器	甕		29.2	<u>10.2</u>		不良	10YR7/2	にぶい黄橙色	10YR7/2	にぶい黄橙色			15
98		木製品	柄？										全長47.8cm、幅7.4cm、厚さ2.2cmを測る。	材はクスギ節	100
99		木製品	杭										現存長29.2cm、径4cmを測る。先端部を加工している	材は二葉松類	

・ 口径・器高・底径ノアンダーラインは現存値（cm）、残存率は（％）で示している。

まとめ

今回の調査によって、東側に広がる湿地方向へ延びた幅2 mあまりの道路の付け根部分が検出されたこと。この道路を活用していた人々が、東側に広がる湿地方向から落ち込みの肩部分に沿って南下する、もしくは落ち込みの肩部分に沿って北上してきた人々が、東側の湿地部分へ右折して東進するかたちをとる動きが確認されたことはおおきな成果である。

出土遺物には、前回の調査で出土しているものと器種構成などでも傾向に大差はなく、概ね8世紀末～12世紀を前後する時期までの遺物がみられる。

附 調査完了後、滝野中学校3年生有志への現地説明を行うとともに、滝野町CATV通じて滝野町内には調査概要を紹介した。





全景（上空より）



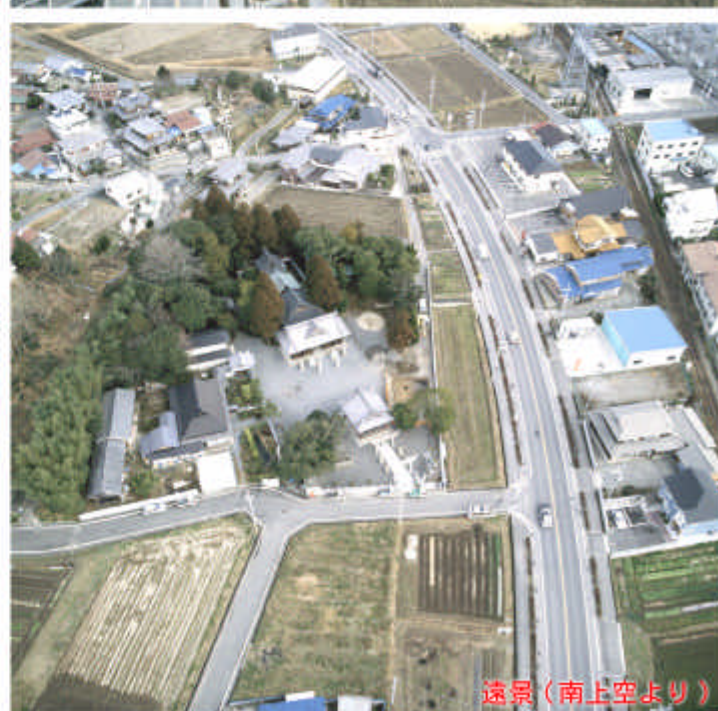
遠景（北上空より）



遠景（北上空より）



遠景（西上空より）



遠景（南上空より）



近景（北上空より）



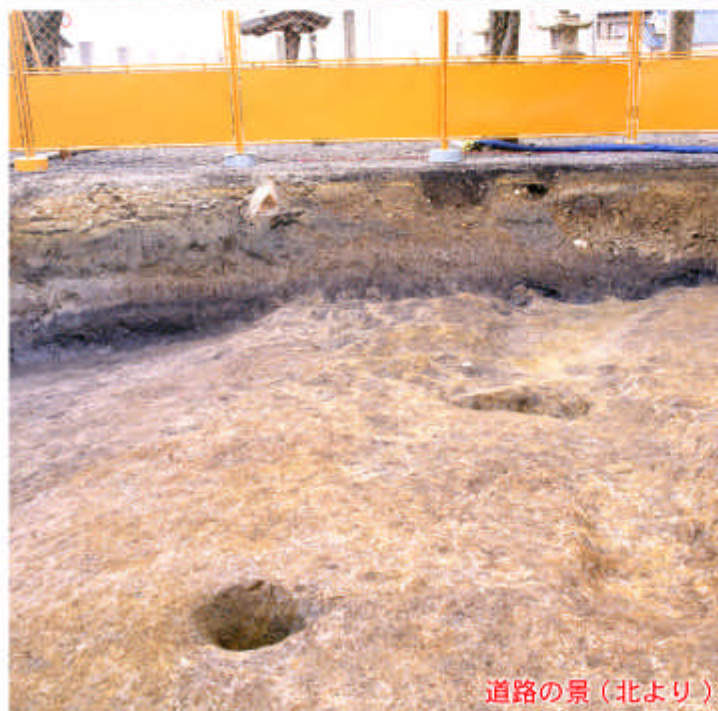
景（北より）



景（北より）



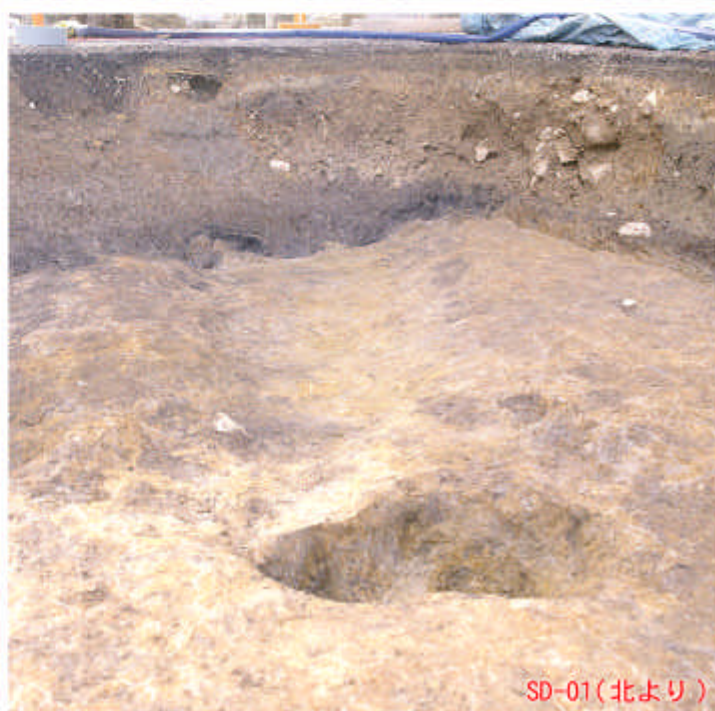
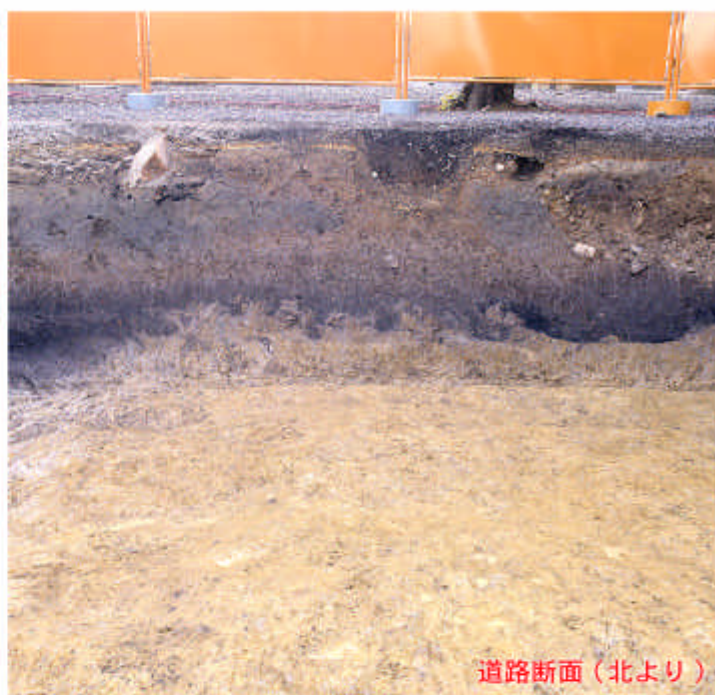
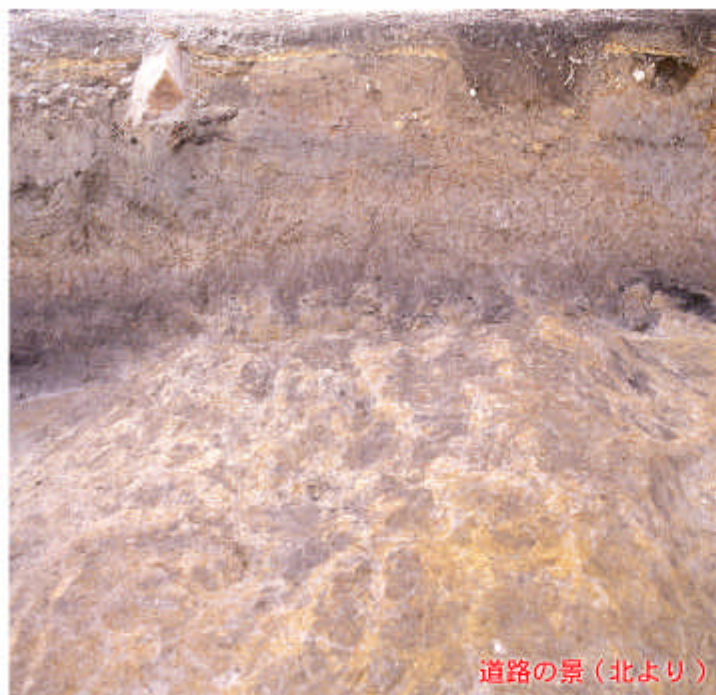
道路全景（上空より）

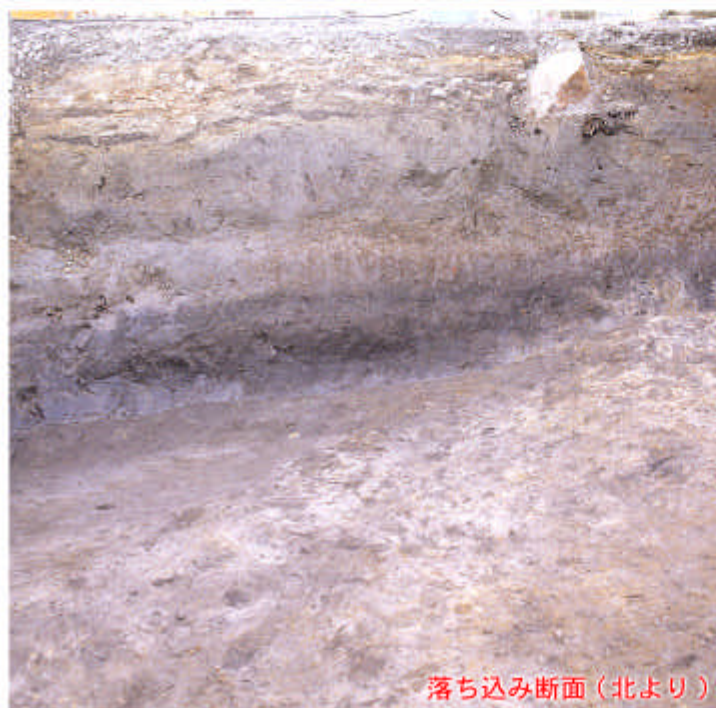


道路の景（北より）



道路の景（南より）







落ち込みの景(北より)



落ち込みの景(南より)



東断面(西より)



杭列(上空より)



SE-01(西より)



1



2



3



6



8



14



15



16



18



19



21



22



23



25



26



27



28



29



30



32



34



33



35



36



37



38



39



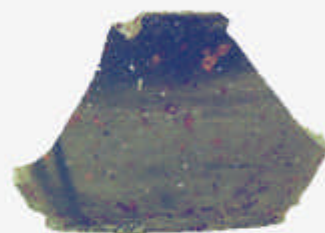
40



41



42



44



43



45



46



47



48



49



50



51



52



56



57



59



58



62



63



68



72



69



74



S=1/4

75



76



77



80



83



85



86



92



95



94



97



96



1/3

98



99